

第5回箕面市総合計画策定委員会議提出資料（五藤）

基本構想（案）

頁	行	質 問 意 見
全 体		<p>前回出された意見に対して個別に回答を整理していただいているのは大変わかりやすいが、会議録にもある通り、市民が主役となり市民も参画して協働でまちづくりを進め箕面の魅力をアップするというのが提言書の基本理念であるが、第4章では行政ができる範囲の政策施策の羅列になっており、これを読んだ市民は10年後にどんなまちになっているのか、今とどう変わるのか充分イメージできず、このままでは総合計画を市民と共有することは難しいのではないかと。何度も言っている通り次期総合計画は市民会議の提言書、提言シート集を尊重して策定されることになっているが、提言書通りであれば良いということではなく、専門的知識に欠ける市民の提言を超えるレベルの総合計画を提案願いたい。しかし、提言書の根幹となっている基本的な考え方や市民の目線を外すべきではない。</p> <p>基本計画(案)に関しても同様。</p>
5	7	<p>「箕面に住んでみたい、住みやすい、住み続けたい」の「住みやすい」は「住んで良かった」の方が語呂も良くわかりやすいのではないかと。</p>
7	下12	<p>～将来都市像に込めた願い～はわかりやすくなったが、「元気な箕面こそ求められる都市像と考えます」とあるのは「・・・都市像です」と言い切って良いのではないかと。</p>
9	2 グラ	<p>将来人口は平成20年3月時点の客観的データ・調査に基づくところだが、新市街地は数年前の開発計画通りの入居を前提としており、その後の経済情勢の変化等により大きく変わる懸念があるので、総合計画決定直近の推定値を採用すべきである。</p>
10 ～	4章 全体	<p>各目標ごとに前段の総論と後段の目標達成のための基本方向で構成されているが、重複している内容が多くインパクトに欠ける。後段のような箇条書きで簡潔に書いた方が読みやすいので、前段の総論部分を目標のテーマが理解できる程度のコンパクトな表現にまとめた方がわかりやすいと思う。</p>
11	下6	<p>市立病院については経営改革を進めるのは当然としても、その機能の重要性をもっと明確にした方が良いのではないかと。市民の病院としての存続を前提にするならば、存在の必然性を明確にした方が良い（繰出し金が削減されるなどその存在が軽視されつつあると見られている）。</p>
11	下4	<p>「誰もが明るくいきいきと安心して暮らします」とあるが、もう少し基本方向の内容（介護、障害者、支え合いなど）をイメージできるタイトルにした方が良い。</p>
20	下2	<p>「市は多様な市民の意見を・・・」の部分は「市は多様な市民の意見を市政に反映するために市民が主体的にかかわれる仕組みを作ります」ではないかと。市民の意見を反映して仕組みを作るのではなく、市民の意見を反映するために仕組みを作るのではないかと。</p>

基本計画（案）

頁	行	質 問 意 見
全 体	成果 指標	施策の内容の目標を的確に示せる成果指標が必要。客観的なデータを捉えることが困難な場合は関連すると思われる指標でもやむを得ないが、成果指標は政策・施策の推進によってどんなまちになるのか市民にも最もわかりやすいので重要な項目である。
14	7	高齢化率が 23.9%はいつのことか。人口の資料との整合性が必要。
	下 5	介護保険サービス等の制度周知に努めるとあるが、周知するだけではなく、要介護者が納得できるサービスを提供できることが重要ではないのか。要介護者受け入れ諸施設の充足度向上策も重要な施策ではないか（意識調査 45 ページ参照）
16	成果 指標	提言書にあるように、介護施設等の利用待機者の減少、介護サービスに対する満足度の向上が重要な成果ではないか。 「N プラン」では普通の市民はわからない。障害者市民の長期計画と明記すべきである
18	下	【市民】火災報知機の設置が法定通り実施されない懸念があるので市民の対応が必要。指標でも出火率が減るにこしたことはないが、そのための対応策がきちりできているかどうかも重要ではないか。
19	成果 指標	自主防災組織の結成数よりは結成率の方がわかりやすい。 住宅の耐震化率や火災報知機設置率などが市民の防災意識の動向を表すのではないか。 出火率の単位を注記した方が良い。火災発生件数の方がわかりやすいが。
22	成果 指標	提言書でも労働問題セミナーの参加者数とかシルバー人材センターの会員数を成果指標として掲げているが、就職困難者の減少とか、地域の雇用機会の増加とか明確な成果を指標化できないか。
23	10	「本市では・・・」とあるが、多くの自治体に共通の課題なので「本市でも・・・」の方が良いのではないか
24	成果 指標	人権問題に関わりたいという意欲を持つ市民が増えるということは、人権問題に対する認識が高まるということではあるが、人権問題が一層大きな問題になっているとも言える。 外国人市民の相談件数が増えるということは、それだけ相談しやすくなるということだが、人権問題が一向に解消していないためとも言える。目標値は外国人市民 1 人当たりでは現状と大きくは変わらない。 女性委員の割合は人口比で約 50%というのが最終目標になるうが、2015 年に 33%にできるなら 2020 年には 40%も可能と思われる。33%を大幅に超えるには何か障害があるのか。
26 ～ 31	全体	子どものために大人が何をするのかという施策中心になっているが、子供が主体になる、あるいは子どもの目線で考える仕組み、子どもの権利を守ることも必要なのではないか。 教育委員会とも意見交換したのか。 子どもの教育に関する親の本音は学力向上も重要な要素ではないのか。その点も明確に出すのは問題なのか。

頁	行	質 問 意 見
28	成果 指標	子どもが参加できる場や機会とは具体的に何を指しているのか（施策内容が豊富な割には増えない）。
30	4	きめ細かい教育の手段として一貫教育を推進するというが、提言書にある少人数学級より一貫教育の方が優れているのか。
32	9	二ートがいるから生涯学習が一層重要というのは間違いではないが何か違和感がある
37	成果 指標	地球環境保全・・・、積極的にゴミ減量・・・の現状値が正しいとすれば目標値が小さい。さきがけのまちというにふさわしい目標値を設定し、達成のための施策を一層具体化、強化すべきである。 ごみの減量目標は計画の達成度では、計画を見ないとどの程度のレベルか市民にはわからない。この場合は例えば市民1人当たりの発生量を年間200kgから150kgにするなど定量的な成果目標を明示した方がわかりやすい。
38 39	全体 10	環境と水というテーマの中で河川（緑の保全対象としては上がっているが）や池の問題は何もないのか（箕面らしさでは出てくるが）。
38	下2	以下に上下水道の健全な運営という用語が何回も出てくるが、何をするのかよくわからない。水道代を下げるのか、水道管の耐震化を図るのか、老朽化対策が重要なのかももう少し具体的に書いた方が市民にわかりやすい。
40	成果 指標	雨水活用の成果を指標化できないか（雨水を活用している世帯の割合、市民1人当たりの節水効果など） 地球環境保全・・・37ページと同じ指標が必要か
41	12	鉄道整備（鉄道延伸、北大阪急行延伸などの表現があるが統一しては？）については「市財政の影響が懸念される」というだけではなく、「市財政の影響が懸念されるので財政健全化の進捗状況を勘案して慎重に取り組む」と言い切るべきである。
43	成果 指標	歩道のある道路延長は新市街地部分を含むとすれば非常にわかりにくい。新市街地以外で歩道のない道路にどれだけ歩道を設置するかが目標ではないのか。 鉄道・バスの利用者数は北急延長を前提としているならば少なすぎるのではないのか。2015年（北急未延伸）は人口増加率を下回っているが、その間は公共交通への転換は後退すると見ているのか。バス 北千里または千中央乗り換えはバスだけが人数に入っているのか。
46	成果 指標	豊かな自然環境の保全の指標の単位がわからない
48	6	【市民】伝統的な行事だけではなく「自主的な文化活動」にも積極的に参加すべきではないか
	成果 指標	応援してくれる人の数を掌握可能か。
49	全体	住環境を言う場合公園に関する重要な施策はないのか
52	成果 指標	満足度を低下させる目標値を設定する意味が理解できない 市営住宅のバリアフリー化率まで目標を設定する必要があるのか疑問
55	成果 指標	空き店舗数に対象となる商店街を注記する。商店街が商店街でなくなれば空き店舗は減るということもある。

頁	行	質 問 意 見
62	19	( 1 ) 基本方針 財政に関する基本方針は市民に説明するだけでは不十分で、健全化することが重要。議会も重要な協働の担い手であり、市民の意思を的確に把握できる仕組みを講じるべきである(公開度の向上、市民との交流機会の設定など)。
	下 1	提言書に「まちづくり市民会議」の設置を提言しているように、単に市民が受け身的に意見を発するだけではなく、積極的に意見を発し、それを行政が真摯に受け止める仕組みや制度の確立を明記すべきである。まちづくり即ち地域経営の主体は市民であるという基本構想の基本となる考え方に沿った具体的な計画を逃してはならない。基本構想の第 5 章(提言書の「自治と協働の地域経営」に相当する部分)は市民会議の提言の根幹にかかわる部分であり、本来目標 5-(3)の中に埋没させる課題ではない。また、基本構想(3 頁)にある計画の進行管理についてももう少し掘り下げた仕組みや制度を基本計画に明記すべきである。 協働や市民参画を基本理念の一つにする総合計画なら、市民と行政の相互不信を排除し市民のやる気を引き出す施策も必要である。
63	1	財政状況を一方的に説明するだけではなく、市民の意見を取り入れ予算等に反映させる仕組みや制度の確立を計画に明記すべきである。
	成果 指標	行政の人のスリム化目標を提言書通り設定すべきである。 市民意識調査では市政に市民の意向が反映されている考える人が 35%であるが、この指標を 50%以上にする目標を設定すべきである。また、市民参加に関する市民満足度の向上も成果指標として採用したい。 経常収支比率や市債残高の上限額など財政の健全化目標を数値化すべきである。
65	9	粟生間谷地区など箕面市内地区でも学術研究施設や新産業施設が期待され、既に企業の立地が進んでいるのか。
	下 9	茨木市との連携も必要ではないか。
66	下 4	「北大阪急行の延伸を進める」と言い切るのは危険。次の「北大阪急行の延伸に伴い」というのも、「北大阪急行の延伸が実現すれば」という表現の方が適切。